

# G20

Ministerial Meeting on Energy Transitions  
and Global Environment for Sustainable Growth

# G20

## 持続可能な成長のための エネルギー転換と地球環境に関する 関係閣僚会合

令和元年(2019年)6月15日(土)～16日(日)

長野県・軽井沢町

活動報告書

G20関係閣僚会合長野県推進協議会  
G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議





# G20

**持続可能な成長のための  
エネルギー転換と地球環境に関する  
関係閣僚会合**

令和元年(2019年)6月15日(土)～16日(日)

---

**長野県・軽井沢町**

---

**活動報告書**

# 目次

## ごあいさつ

G20関係閣僚会合長野県推進協議会会長 長野県知事 阿部 守一 .....	4
G20関係閣僚会合長野県推進協議会副会長	
G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議顧問 軽井沢町長 藤巻 進 .....	5
G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議会長	
軽井沢リゾート会議都市推進協議会会長 土屋 芳春 .....	6

## メッセージ

経済産業大臣 世耕 弘成 .....	7
環境大臣 原田 義昭 .....	8

## 第1章 G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合

### 会合の概要

日程・主会場・参加国・出席者 .....	10
主議題 .....	12
スケジュール .....	13

### 各プログラム

#### 6月14日（金）

地元主催エクスカースション .....	14
「持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言」手交式 .....	17
長野県知事・軽井沢町長によるメディア取材対応 .....	17
地元主催歓迎夕食会 .....	18

#### 6月15日（土）

合同セッション／高校生プログラム .....	22
フォトセッション／セッション1 .....	23
大臣主催閣僚晩餐会 .....	24

#### 6月16日（日）

セッション2／閉会セッション .....	25
共同記者会見 .....	26

#### 6月14日（金）～6月16日（日）

バイ（二国間）会談 .....	27
G20イノベーション展 .....	28

### 開催支援（地元の取組）

記念品 .....	30
コングレスバッグ .....	31
その他提供品／救急・医療体制 .....	32
通訳ボランティア／歓迎装飾 .....	33
県産品のPR .....	34

## 第2章 会合開催までの取組

### 受入体制

G20関係閣僚会合長野県推進本部	40
G20関係閣僚会合長野県推進協議会	40
G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議	41
国旗設置・歓迎装飾	42
子どもたちの活動	44
環境美化活動	46

### 機運醸成・情報発信

第1回機運醸成イベント「夏期英語セミナー」	47
サステナブル・ツーリズム勉強会	47
第2回機運醸成イベント「軽井沢町ホスピタリティ講演会・エコホテル研修会」	48
気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）における発信	49
地域循環共生圏に関する勉強会	49
高校生による「信州らしい朝食メニュー」提案会	50
第10回持続可能な都市に関するハイレベルセミナーにおける発信	50
駐日各国大使館員長野県視察ツアー	51
第3回機運醸成イベント「G20関係閣僚会合開催100日前記念イベント」	53
サステナブル・ツーリズムセミナー	55
G20気候持続可能性作業部会（CSWG）における発信	56
第4回機運醸成イベント「おもてなし研究シンポジウム」	58
SDGsシンポジウム	59
ICCA2019（気候変動に関する国際会議）における発信	60
G20コーナー設置	60
G20給食	61
G20授業	61
「広報かるいざわ」への記事掲載	62
各イベントへの参加	63
制作物	66

## 第3章 関係資料

### 参考資料

G20関係閣僚会合長野県推進協議会規約	70
G20関係閣僚会合長野県推進協議会収支予算	73
G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議規約	74
G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議収支予算	77
G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合 閣僚声明	78
持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する G20軽井沢イノベーションアクションプラン	86
G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組	93
G20適応と強靱なインフラに関するアクション・アジェンダ	97
持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言	98
プラスチック問題に関する提言（長野県長野高等学校）	104
野生生物管理に関する提言（長野県上田高等学校）	106

## ■ ごあいさつ



G20関係閣僚会合長野県推進協議会 会長  
長野県知事  
**阿部 守一**

令和元年(2019年)6月15日(土)から16日(日)にかけ、長野県軽井沢町において、「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」が開催されました。

本県においては、地元軽井沢町、長野県警察本部をはじめ、関係機関で構成するG20関係閣僚会合長野県推進協議会を設立し、安全・安心な会合開催に向けて支援を行ってまいりました。

加えて、会合に参加されるG20各国、招聘国や国際機関の皆様への真心を込めたおもてなしを通じて、長野県の魅力を体感していただけるよう全力で取り組んでまいりました。エクスカーションでは、県内企業の高い技術力や豊かな自然・文化などをご紹介し、また、歓迎夕食会では、県産食材をふんだんに用いた料理や日本酒・ワインを提供するとともに、本県ゆかりの文化芸術のアトラクションも実演いたしました。このような取組により、参加者の皆様には大変喜んでいただくことができ、本県の魅力を十分にアピールする機会となりました。

本会合においては、「イノベーションの加速化による環境と成長の好循環」、「資源効率性・海洋プラスチックごみ」、「生態系を基盤とするアプローチを含む適応と強靱なインフラ」などについて議論が行われました。いずれもG20各国が世界をリードすべき重要な課題であ

り、国内外における注目度も非常に高い会合となりました。議論に関する報道と合わせて、開催地である長野県の魅力や取組が数多く取り上げられたことにより、国内外に広く情報発信ができたものと考えております。

平成28年(2016年)に開催された「G7長野県・軽井沢交通大臣会合」に続く、世界の要人を迎えた大規模な国際会議の経験は、本県にとって大きな財産となりました。この経験を生かし、MICE誘致の推進や国際連携・国際交流の促進に官民の力を合わせて取り組んでまいります。

また、今回の会合に合わせて、本県では、「地域循環共生圏」の実現を目指す「持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言」をイクレイ日本とともにを行い、原田義昭環境大臣及び各国の大臣に対して、地方政府が取り組む低炭素で循環型の社会づくりへの支援をお願いしたところです。今後、この宣言に賛同いただいた各国の地方政府等と協働・連携して、自立・分散型の社会づくりを積極的に進めてまいります。

結びに、本会合の長野県での開催に対し、ご理解、ご協力をいただいた県民の皆様並びに関係企業・団体の皆様、地元の取組にご支援をいただいた経済産業省並びに環境省、会合開催にご尽力を賜ったすべての皆様に心より御礼申し上げます。

## ■ ごあいさつ



G20関係閣僚会合長野県推進協議会 副会長  
G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議 顧問  
軽井沢町長  
**藤巻 進**

G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合が、令和元年6月15日（土）から16日（日）にかけて軽井沢町で開催され、エネルギー・環境問題という全世界共通の課題について議論されたのち、その成果が共同声明文として採択され閉幕いたしました。

当町としては、この会合に合わせて、地元関係者による官民連携組織「G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議」を立ち上げ、町内機運の醸成とリゾート会議都市軽井沢の情報発信に努めるとともに、長野県が設置したG20関係閣僚会合長野県推進協議会とも連携しながら、会合の開催支援に努めてまいりました。

軽井沢町は、1886年、カナダ生まれの英国聖公会宣教師アレキサンダー・クロフト・ショーにより国内外に紹介されてから国際保健休養地として歩み始め、現在では国内有数のリゾート地として発展してきましたが、近年は、首都圏からの良好なアクセス、豊富なアクティビティと多種多様な宿泊施設、警備のしやす

いリゾート型都市といったメリットを最大限に活かして、国際会議の誘致にも力を入れています。

それ故に、今回、エネルギーと環境に関する注目度の高い本会合が自然豊かな当町で開催されたことは、非常に意義深いものであると考えております。

国際会議の誘致活動は、2016年のG7交通大臣会合と、今回のG20関係閣僚会合の開催という形で実を結び、さらに2020年には、世界約50カ国から1,000人程度が参加する「国際小児脳腫瘍シンポジウム」も予定されております。

このように、リゾート会議都市としての実績を着実に重ねながら更なる飛躍を遂げ、長野県の東の玄関口としての重責を果たしていく所存です。

終わりに、会合開催を応援していただいたすべての皆様にあらためて感謝申し上げますとともに、主催者である経済産業省と環境省のご尽力に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

## ■ ごあいさつ



G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議 会長  
軽井沢リゾート会議都市推進協議会 会長  
**土屋 芳春**

令和元年6月15・16日、G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合が、経済産業省・環境省主催のもと、長野県、長野県警等の協力により軽井沢町内の民間施設で開催されました。軽井沢町で開催された国際会議としては、2016年のG7交通大臣会合に続くハイレベルな国際会議となりましたが、その規模、注目度はG7をはるかに凌ぐものとなり、町のMICE推進組織の長として大変嬉しく思います。

また、6月14日に開催された歓迎夕食会では、地元食材による料理や地酒が提供されるとともに伝統芸能などの演出も加わり、各国代表団並びに参加者の皆様から高い評価を受けたとうかがっております。

軽井沢町としても、官民連携組織の「G20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議」を設置し、様々な催事やPRを実施して機運醸成やおもてなしに努めてまいりました。今回はエネルギーと地球環境がテーマということで、前回のG7のような関係団体や通訳ボラン

ティアなどの取り組みに加え、児童や生徒の積極的な参加や意見表明もあり、国際会議開催における地域全体としての当事者意識が前進したように思います。

さて、避暑地・別荘地として130年の歴史を持つ軽井沢町は、類まれな自然環境はもちろんのこと、首都圏からの好アクセスに加え、心身の気力を回復し創造力を掻き立てる標高1,000mの高原特有のウェルネス気候もあり、この度のような国際会議の開催地として最適であると自負しております。さらに、会議後のアクティビティーも、観光、芸術・文化、スポーツ、グルメ、ショッピングなどが充実しているため、他地域とのさらなる差別化を可能にしています。

今後につきましても、日本のMICE推進をけん引する“リゾート会議都市”の一翼を担う立場として、より一層精進していく所存ですので、引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## ■ メッセージ



経済産業大臣  
**世耕 弘成**

令和元年6月15日から16日に開催したG20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合は、長野県や軽井沢町をはじめ、多くの関係者の皆様の御協力により、成功裏に終わることができました。

今回の会合は、世界の経済成長を支えるための安価で安定的なエネルギーの確保や、気候変動問題といった地球規模の課題に対応するため、G20として初めて、エネルギー大臣と環境大臣が一堂に会し、活発な議論が行われました。

会合においては、日本が「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」に盛り込んだ「環境と成長の好循環」というコンセプトと、それを支える①イノベーション、②民間資金の誘導、③ビジネス環境整備という3本柱の重要性に、G20の全ての加盟国が合意しました。また、本コンセプトを実現していくための具体的なアクションを明記した「G20軽井沢イノベーションアクションプラン」にも合意しました。

さらに、エネルギー転換の推進力として、水素やCCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)、特に日本が提案しているカーボンリサイ

クルなど、様々な分野におけるイノベーションの重要性も共有されました。

会合の開催に当たっては、地元自治体である長野県・軽井沢町を中心として多くの関係者からの御協力も頂きました。

この結果、会合期間中の晩餐会や展示等においては、桔梗ヶ原メルロー2014を始め、地元の名産品や文化、歴史を積極的に織り込んだ「おもてなし」が随所で見られ、各国代表団の皆さまから御高評を頂きました。

また、会合の準備段階でも、100日前イベントや各国大使館向け長野県視察ツアーを始めとした様々な機運醸成イベントの開催、伝統工芸品の軽井沢彫りを活用した閣僚用ピンバッジの作成など、大変な御尽力を賜りました。

軽井沢での成功なしに、その後のG20大阪サミットの成功はあり得なかったと思っています。改めて、地元自治体を始め、多くの関係者の皆様に深く御礼申し上げますとともに、長野県・軽井沢町の益々の御発展をお祈り申し上げます。

## ■ メッセージ



環境大臣  
原田 義昭

令和元年6月15日から16日に開催したG20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合は、皆様の御協力により成功裡に終わることができました。

今般の会合では、コミュニケ及び3つのアクションプランが採択されました。イノベーションを通じた「環境と成長の好循環」という1つのコンセプトに合意できたこと、海洋プラスチックごみに関し、各国が自主的な対策を実施し、その取組を継続的に更新・共有する「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」

が採択されたことは画期的なことだと考えています。

G20関係閣僚会合長野県推進協議会並びにG20関係閣僚会合軽井沢町推進町民会議を立ち上げ、機運の醸成や、歓迎夕食会の開催などに御協力頂いた皆様の御支援に感謝致します。また、御提言頂きました「持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言」に盛り込まれた気候変動や海洋プラスチックに関する取組についても、関係省庁と連携しながら進めていきたいと思ひます。